



ASCII MEDIA WORKS

アスキー総研ニュース

報道関係各位

2009年1月8日
株式会社アスキー・メディアワークス
アスキー総合研究所

ミニノート新機種発売の要望は「ソニー」からがトップ 64%は国内有名メーカー製か否かを気にしない 『ミニノート購入意向調査』結果のお知らせ

株式会社アスキー・メディアワークス(本社:東京都新宿区 代表取締役社長:高野 潔)は、この度、『ミニノートの購入意向調査』の結果をまとめましたのでお知らせいたします。調査は、株式会社アスキー・メディアワークスのリサーチ・メディア部門である「アスキー総合研究所」が実施しました。

今回調査テーマとして取り上げた『ミニノート』は、昨年1月に発売されるや、10カ月でノートパソコンの販売台数の4分の1を占めるまでの成長を見せた人気商品です(BCNランキングより)。アスキー総合研究所では、8月と12月にアンケート調査を実施し、購入意向の時系列変化や新製品発売の要望についてパソコンユーザーの意見をまとめました。

調査結果によると、本日新モデルを発表した「ソニー」からの新機種発売の要望が最も高くなっています。また、その一方で過半数が国内有名メーカー製かどうかは気にしないとするなど、従来とは異なるユーザー心理が垣間見られます。

調査結果のポイント

ミニノートに関して「特徴について詳しく知っていた」が4カ月で20ポイント以上増加。

購入率が8月の4%から12月:11%へと急増。購入意向も高水準が持続。

軽さ、小ささについての評価が、さらに高まる。

「ハードディスクなどへの保存容量」など性能面への懸念は縮小。

ミニノート購入者が実感した良さは“気軽に買え、気軽に持ち出せるうえ携帯電話等より実用的”。

ミニノートが国内有名メーカー製かどうかは、なんと64%が「特に気にしない」。

ミニノートの新機種発売を希望するメーカーの1位は「ソニー」。2位に「アップル」。

そのうち、最も購入の可能性の高いメーカーとして3位に「ASUSTeK(アスーステック) Computer」。

6万円以上の価格を許容する割合では、「アップル」製希望者が50%でトップ。

調査概要

(1) 調査時期:

2008年12月中旬

2008年8月初旬

(2) 調査方法: Web アンケート

(3) 調査対象:

アスキー総研アンケートモニター

(4) 有効サンプル数:

2008年12月中旬: 1455 サンプル

2008年8月初旬: 655 サンプル

【報道関係のお問い合わせ】

株式会社アスキー・メディアワークス アスキー総合研究所 (TEL: 03-6866-7338)

なお、本リリースに掲載しておりますデータを記事にて引用される場合は、「アスキー総研調べ」と出典を明記していただきますようお願いいたします。

『ミニノート購入意向調査』

株式会社アスキー・メディアワークス
アスキー総合研究所

ミニノートの認知状況

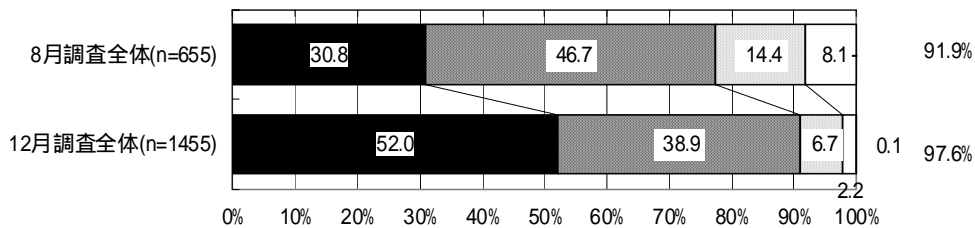
「特徴について詳しく知っていた」が4カ月で20ポイント以上増加。

ミニノートについて知っているか尋ねたところ、「特徴について詳しく知っていた」が12月調査で52%に達した。8月調査時点では31%にとどまっていたが、わずか4カ月で20ポイント以上伸びたことになる。

ミニノートの認知状況

[時系列比較]

■特徴について詳しく知っていた ■概要は知っていた □名前だけは知っていた □知らなかった □不明
知っていた



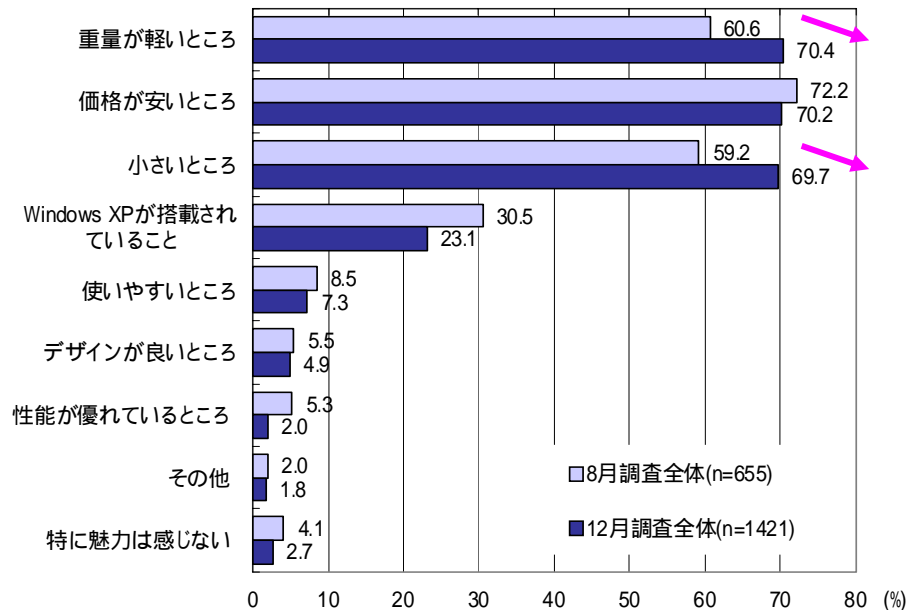
ミニノートについて良いと思うところ

軽さ、小ささについての評価が、さらに高まる。

「重量が軽いところ」、「価格が安いところ」、「小さいところ」の3点が12月調査でそれぞれ約70%と圧倒的に高い。これを8月調査と比較すると、「重量が軽いところ」、「小さいところ」がそれぞれ10ポイント程度伸びている。8月以降、小型なモデルが投入されたわけではなく、実際に店頭で商品を目にするなど、実感として軽さや小ささの評価が高まったと考えられる。

ミニノートについて良いと思うところ

[時系列比較]



ミニノートについて気になること

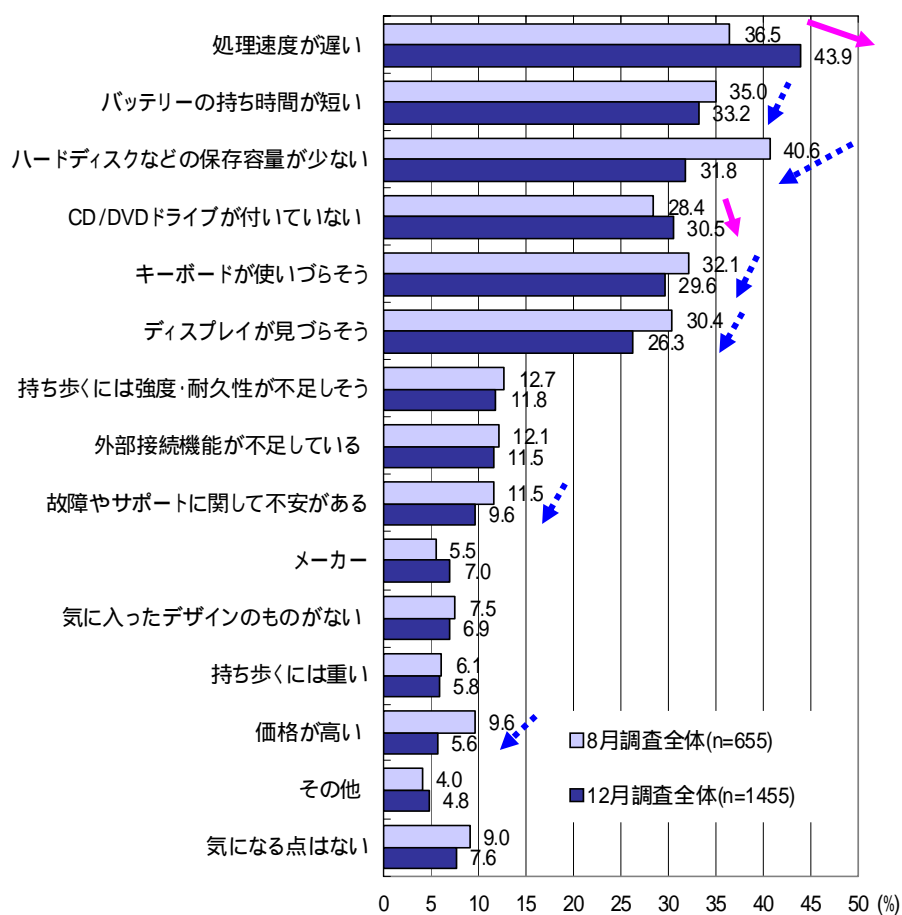
「ハードディスクなどへの保存容量が少ない」が大幅に減少するなど、懸念が縮小。

気になることのトップは「処理速度が遅い」で44%。8月調査の37%から増加している。

8月調査では最も高かった「ハードディスクなどの保存容量が少ない」は41%から32%へと大きく減少し、「バッテリーの持ち時間が短い」、「キーボードが使いづらそう」、「ディスプレイが見づらそう」なども減少している。性能を向上させた製品や若干大型の新製品投入によって、ミニノートについて懸念する事柄は少なくなっていると見られる。

ミニノートについて気になること

[時系列比較]



ミニノートの購入率・購入意向

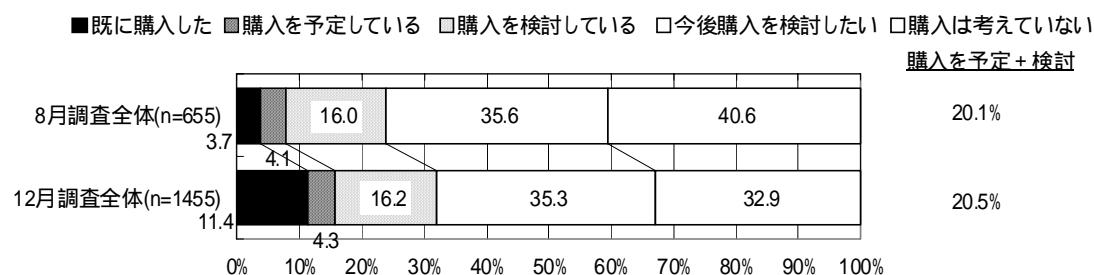
ミニノートの購入率が、8月の4%から11%へと急増。購入意向も高水準が持続。

ミニノートの購入率は12月調査で11%と、8月調査の4%から3倍程度増加している。ミニノートが国内ではじめて発売されたのが「Eee PC」(ASUSTeK Computer)の2008年1月であったことを考えると、販売のペースが急増している様子が伺える。また、購入意向は「購入を予定」が4%、「購入を検討」が16%。前回とほぼ同じ割合で、高水準の販売ペースを当面持続することが予想される結果となっている。

購入意向を年代別に見ると、「購入を予定」は30代が最も高く、6%。ただし、「購入を予定」と「購入を検討」を合わせた割合は20代で最も高い(25%)。当面は30代が購入の中心となると予想されるものの、その後、パソコンよりも携帯電話を頻繁に使うと言われる20代以下の若年層に広がる可能性がある。

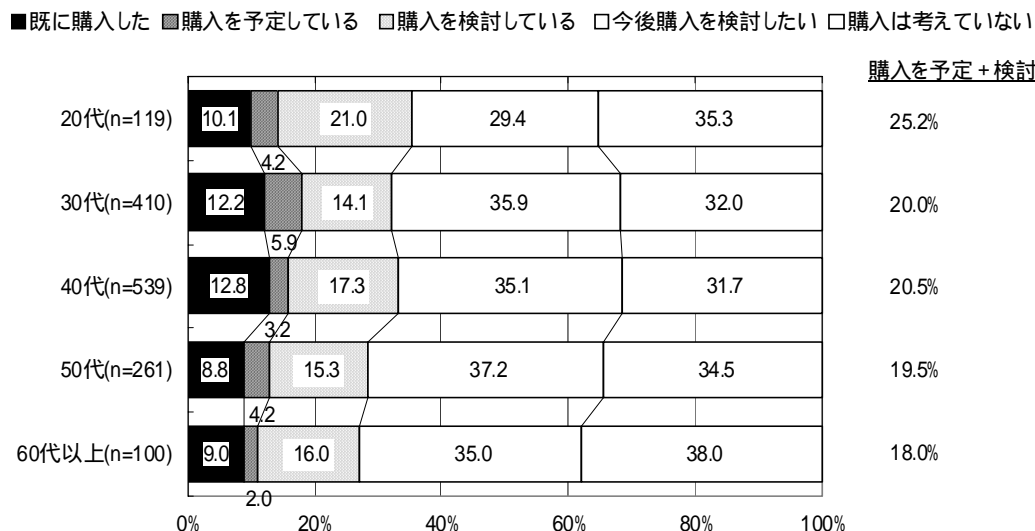
ミニノートの購入状況・購入意向

[時系列比較]



ミニノートの購入状況・購入意向

[年代別(12月調査)]



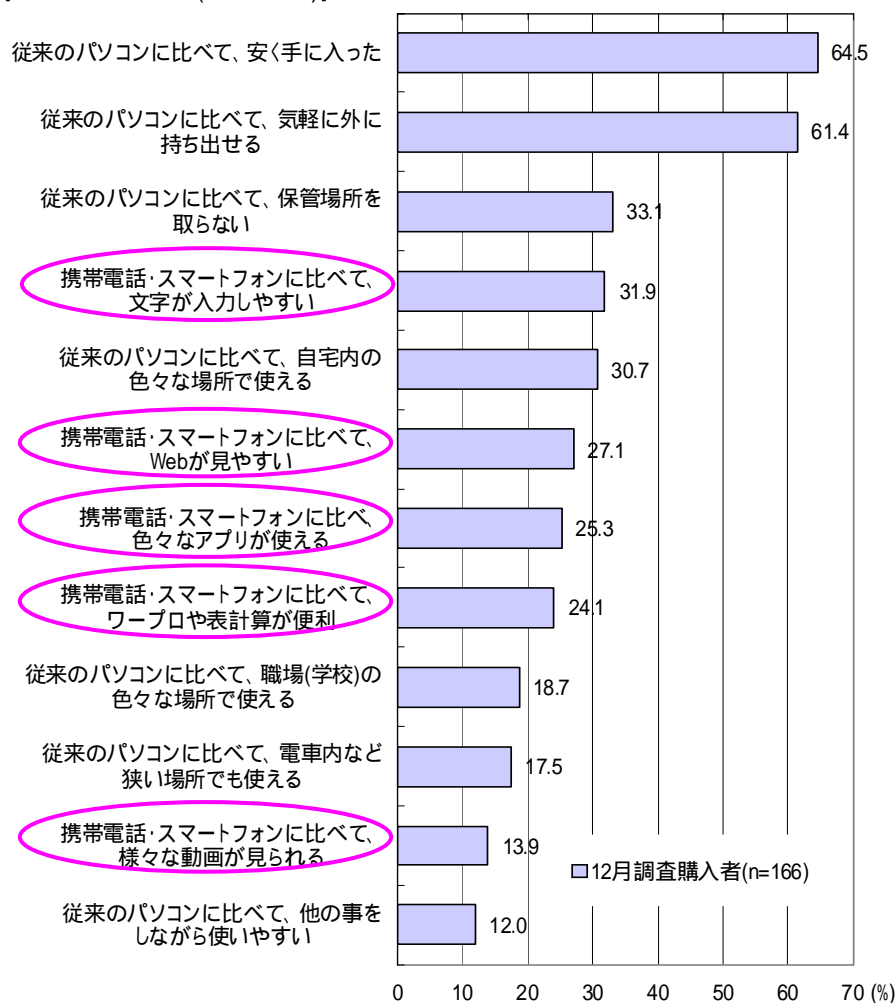
ミニノートを購入して実感した良さ 気軽に買え、気軽に持ち出せるうえ、携帯電話・スマートフォンより実用的。

「従来のパソコンに比べて安く手に入った」、「従来のパソコンに比べて、気軽に外に持ち出せる」が良かった点のトップ。また、従来のパソコンと比較した良さに混じり、「携帯電話・スマートフォンに比べて、文字が入力しやすい」、「携帯電話・スマートフォンに比べて、Webが見やすい」など、携帯電話・スマートフォンと比較した良さについての実感が多い点が注目される。

これらの点を総合すると、“気軽に買え、気軽に持ち出せるうえ、携帯電話・スマートフォンよりも実用的”な新しいタイプのパソコンとして受け入れられつつあるように思われる。

ミニノートを購入して実感した良さ(上位)

[ミニノート購入者(12月調査)]



ミニノートの購入理由

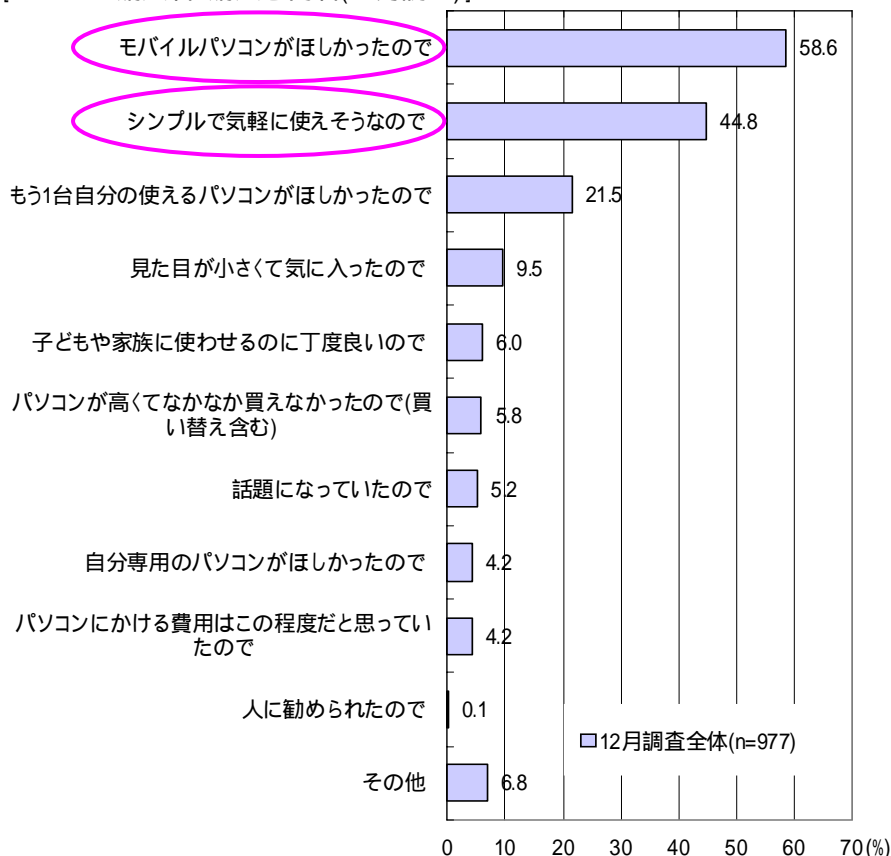
外出の際に使えることに加え、気軽に使える心理的効果が大きい。

「モバイルパソコンがほしかったので」(59%)がミニノートを購入した理由・購入したい理由のトップ。単に安いパソコンとしてではなく、気軽に外に持ち運んで利用したいというニーズが高かったことが伺える。

次いで多いのは「シンプルで気軽に使えそうなので」(45%)。機能や価格を抑えたことが、気軽に利用できる、利用したいといった心理的な効果も生んでいる。

ミニノートの購入理由

[ミニノート購入者・購入意向者(12月調査)]



ミニノートについて、国内大手製にこだわるか

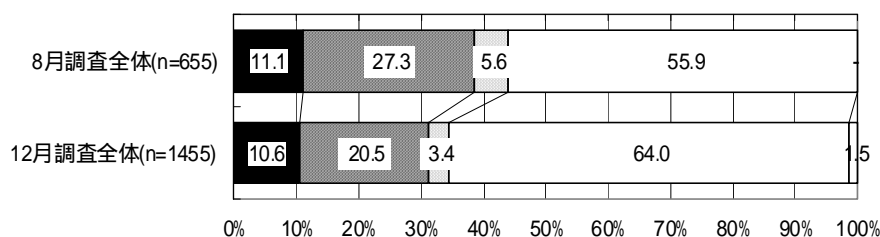
64%が「メーカーは特に気にしない」。

「メーカーは特に気にしない」が64%と高い。さらに、8月調査の56%から8ポイント増加している点が注目される。ASUS やエイサーなどがこの分野で先導的役割を果たしたことで、メーカーに対する見方は大きくかわりつつあるものと見られる。

ミニノートのメーカーに関して、国内大手製にこだわるか

[時系列比較]

■国内大手メーカーでなければ検討対象にならない ■安いので検討の対象になる □その他 □メーカーは特に気にしない



新しいミニノートの発売を希望するメーカー

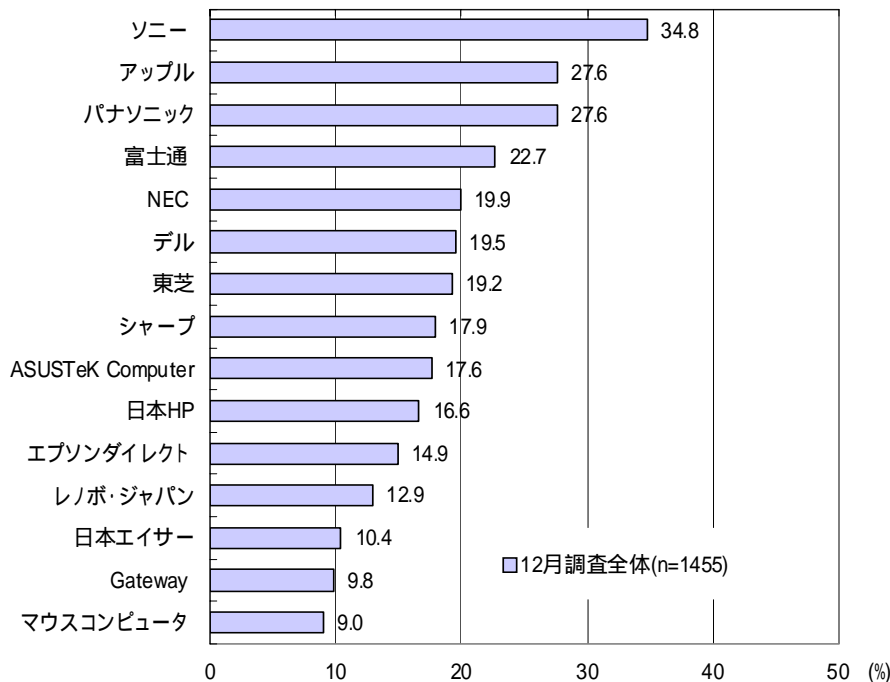
1位「ソニー」、2位「アップル」。

希望するメーカーの1位は「ソニー」。同社は軽量モバイルノートでの実績に加え、ブランド・デザインなどが評価されたと見られる。2位は「アップル」。回答者に占めるMac利用者の割合は8.5%(詳細は回答者のプロフィール参照)であることから、Windows利用者からも「アップル」製の発売を望む声が高かったことが伺える。3位は「パナソニック」。「ソニー」同様、軽量モバイルノートで実績があり、ユーザー満足度も高く、その廉価版を望む声も多いと思われる。

しかし、これらのうち、最も購入の可能性が高いものを尋ねた結果では「ASUSTeK Computer」が3位に躍進。昨年までほぼ無名だった海外メーカーが国内メーカーを押し退けて3位に入ったことは注目に値する。

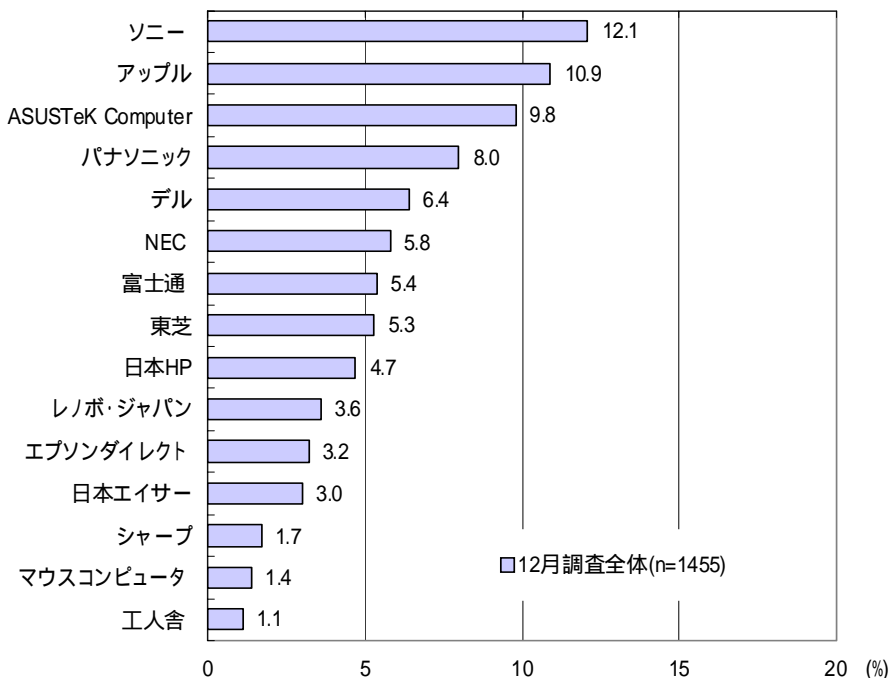
新しいミニノートの発売を希望するメーカー(上位)

[全体(12月調査)]



新しいミニノートを開発してほしいメーカーのうち、最も購入の可能性が高いと思うもの(上位)

[全体(12月調査)]



希望のメーカーからどんなタイプのミニノートが発売されたら購入したいか ソニー製には、解像度の高さとデザインを期待。

「A4 ノート並のキーボードで長時間バッテリー駆動」、「1280×768 ピクセル以上の液晶解像度」の製品を望む声が最も多く、それぞれ 34%。次いで「現在のミニノートで良いが、より低価格」な製品の 29%。

ソニー製の希望者では、「1280×768 ピクセル以上の液晶解像度」、「より洗練されたデザイン」の要望が高い点が特徴。ソニーはVAIO ブランドで斬新なデザインとマルチメディア機能を備えたパソコンとして得た評価が影響していると見られる。

アップル製の希望者では、「MacOS のモデル」が高いほか、「より洗練されたデザイン」が高い点が特徴。アップルのデザインに対する信頼の高さが表れている。

ASUSTeK Computer 製希望者では、「1280×768 ピクセル以上の液晶解像度」、「現在のミニノートで良いが、より低価格」が多い点が特徴。現在のミニノートに対する評価の高さと今後に対する性能アップの期待が表れていると見られる。

希望のメーカーからどんなタイプの「ミニノート」が発売されたら購入したいか

[12月調査全体]

	A4 ノート並のキーボードで長時間バッテリー駆動	1280×768ピクセル以上の液晶解像度	現在のミニノートで良いが、より低価格	160GB以上のハードディスクを内蔵	500グラム前後の軽量	より洗練されたデザイン	MacOSのモデル	Linuxベースのモデル
12月調査全体(n=1455)	34.4	33.8	28.6	25.4	24.3	13.4	8.7	5.6
ソニー(n=176)	37.5	40.3	29.0	29.5	26.1	30.1	3.4	6.3
アップル(n=159)	27.0	26.4	17.0	17.0	25.8	27.7	59.7	4.4
ASUSTeK Computer(n=142)	28.9	45.1	43.0	21.1	22.5	10.6	3.5	8.5
パナソニック(n=116)	33.6	37.9	24.1	22.4	40.5	12.9	3.4	5.2
デル(n=93)	38.7	33.3	38.7	28.0	16.1	7.5	-	2.2
NEC(n=84)	45.2	28.6	32.1	38.1	20.2	7.1	-	1.2
富士通(n=79)	45.6	32.9	30.4	40.5	27.8	12.7	3.8	8.9
東芝(n=77)	42.9	36.4	33.8	32.5	28.6	11.7	3.9	2.6
日本HP(n=69)	36.2	34.8	34.8	27.5	18.8	8.7	2.9	8.7
レノボ・ジャパン(n=53)	39.6	47.2	30.2	18.9	24.5	7.5	3.8	15.1

**希望のメーカーからのミニノートがいくらまでなら購入したいか
6万円以上の価格を許容する割合では、アップル製希望者が50%でトップ。**

現在、5万円前後の価格の製品に人気が集まっているが、6万円以上の価格をあげた割合で見ると、アップル希望者が50%で最も高く、次いでレノボ・ジャパン希望者。特にアップル希望者は9万円以上の価格をあげる割合が高く、ブランド力の高さが表れている。

希望のメーカーからの「ミニノート」がいくらまでなら購入したいと思うか

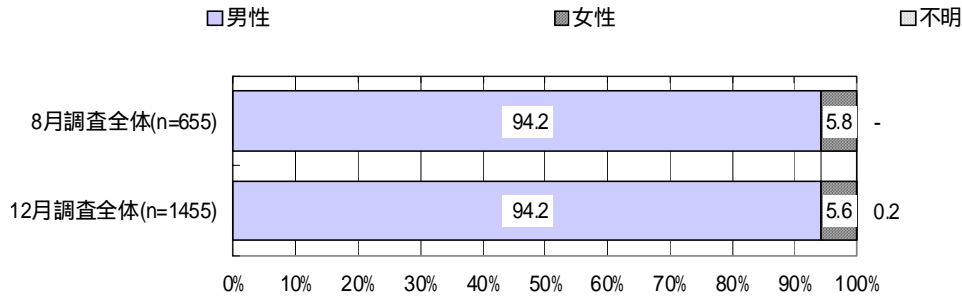
[12月調査全体]

	9万円以上	8万円台	7万円台	6万円台	5万円台	4万円台	3万円台	2万円台	2万円未満	小計/6万円以上
12月調査全体(n=1455)	6.3	6.2	8.7	13.5	31.3	14.4	10.2	2.3	5.3	34.7
ソニー(n=176)	8.5	9.1	11.9	11.9	39.8	10.2	5.7	0.6	2.3	41.4
アップル(n=159)	12.0	7.5	13.8	16.4	30.2	11.3	5.7	0.6	2.5	49.7
ASUSTeK Computer(n=142)	4.2	2.1	7.7	16.9	40.1	13.4	11.3	2.8	1.4	30.9
パナソニック(n=116)	7.7	12.1	10.3	14.7	25.9	12.9	9.5	2.6	2.6	44.8
デル(n=93)	5.4	1.1	11.8	8.6	33.3	19.4	14.0	2.2	2.2	26.9
NEC(n=84)	3.6	2.4	7.1	11.9	39.3	15.5	11.9	3.6	4.8	25.0
富士通(n=79)	10.1	6.3	10.1	16.5	21.5	19.0	7.6	5.1	3.8	43.0
東芝(n=77)	6.5	10.4	5.2	20.8	31.2	18.2	6.5	-	1.3	42.9
日本HP(n=69)	4.3	5.8	8.7	15.9	30.4	20.3	10.1	1.4	2.9	34.7
レノボ・ジャパン(n=53)	7.6	5.7	11.3	22.6	24.5	15.1	9.4	1.9	1.9	47.2

回答者のプロフィール

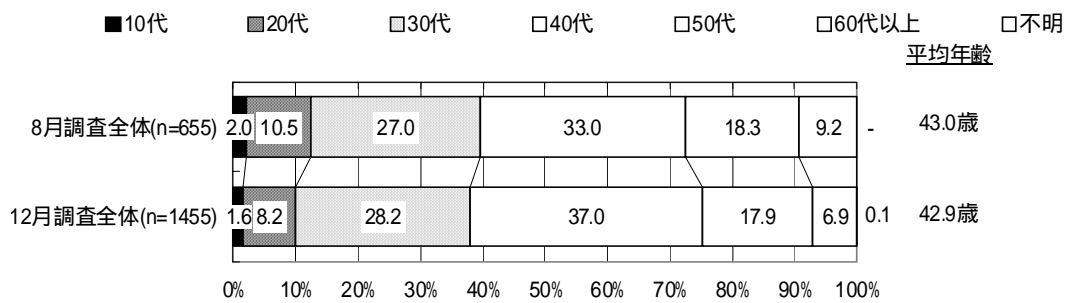
性別

[時系列比較]



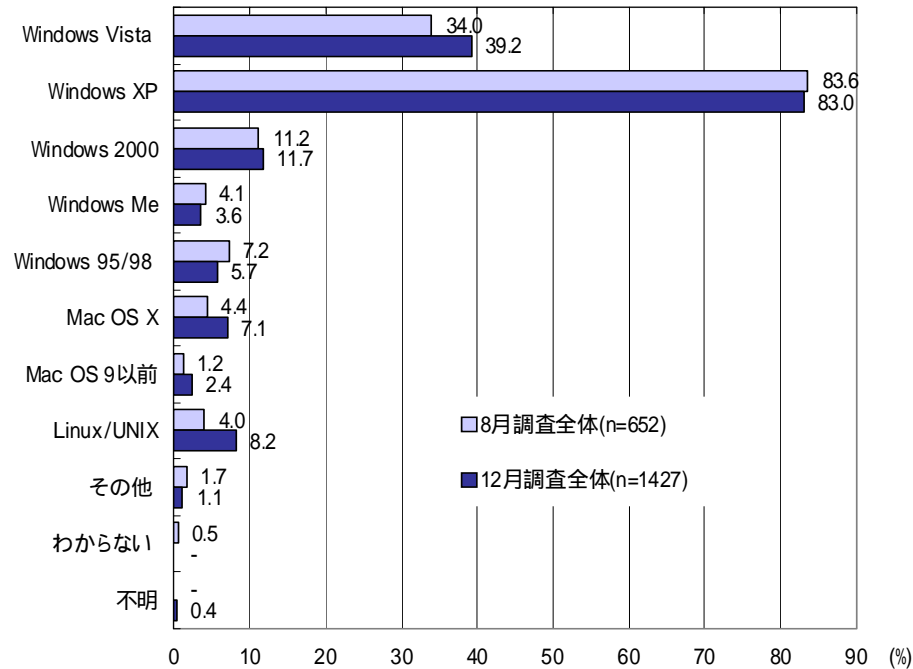
年齢

[時系列比較]



自宅で使用しているパソコンのOS

[時系列比較]



【アスキー総合研究所】 URL:<http://research.ascii.jp/>

アスキー総合研究所は、株式会社アスキー・メディアワークスの法人向けリサーチ・メディア部門です。

コンテンツ、カルチャー、および Web、PC、携帯電話などによるコミュニケーションを対象として、法人向けに調査・分析データの販売を行っています。

〒160-8326 東京都新宿区西新宿 4-34-7 住友不動産西新宿ビル 5 号館

株式会社アスキー・メディアワークス アスキー総合研究所 TEL:03-6866-7338

【株式会社アスキー・メディアワークス】 URL:<http://asciimw.jp/>

出版を基盤としながら、コンテンツをクロスメディア、映像までメディアを超えてプロデュースするコンテンツ・プロデュース・カンパニーです。『アスキー』『電撃』という 2 つのブランドを軸として、(Entertainment) (Business) (Culture) という 3 つの事業領域にコンテンツを発信しています。

2008 年 4 月、株式会社アスキーと株式会社メディアワークスが合併いたしました。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社アスキー・メディアワークス

アスキー総合研究所 TEL:03-6866-7338